

10 家庭

科目名	課題研究	単位数	2 単位	学年	第 3 学年	科	総合生活科
						コース	生活文化コース
使用教科書				副教材			

学習の到達目標

1. 家庭の各分野に関する課題を設定し、その課題の解決を図る。
2. 今後の変化の激しい社会において、問題解決の能力や自発的、創造的な態度を養う。

学習計画

	月	単元	学習内容及びねらい
一 学 期	4	課題を見つける	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで学習したことや各自の家庭生活の現状から、改善や充実したいという課題を見つける。</li> <li>目的に応じて、製作のための計画を考える。(手順・方法・材料・時間など)</li> <li>計画を発表する。</li> <li>計画を見直す。</li> <li>計画に沿って実践していく。活動状況を記録する。</li> <li>使う人の状況に応じて工夫しながら、製作する。</li> <li>表現したい形をどのような技法で行えばよいかについて考えながら取り組んでいく。</li> </ul>
	5	計画を立てる	
	6	実践する (作品製作)	
	7		
二 学 期	9	完成 発表  新しい課題に挑戦する 計画を立てる  実践する	<ul style="list-style-type: none"> <li>予想通りに進まない場合は、必要に応じて計画の見直しを墓りながら、実践していく。</li> <li>どのようなことを工夫して実践したかについて発表する。</li> <li>自己評価のほかに、家族や友人からの意見を聞いて、自分の取り組みの改善点を考え、今後の生活に役立てる。</li> <li>もう一度、取り組んだり、新しい課題を見つける。</li> <li>使う人の状況に応じて工夫をしたり、創意工夫した作品を製作する。</li> </ul>
	10		
	11		
	12		
三 学 期	1	完成 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>題材の内容・計画が目的に対して適切に実施されたか、生活改善に役立ったかについて考える。</li> <li>自己評価し、今後の生活に役立てる。</li> </ul>
	2		
	3		

学習評価

1. 定期試験・課題の提出状況・授業態度などを総合的に評価する。